

エフエム八ヶ岳番組審議会報告

エフエム八ヶ岳はリスナーの皆様のご意見を番組制作に反映させ、より良い番組づくりに努めております。放送内容について皆様からのご感想、ご意見をお待ちしております。今後の番組制作の資料とさせていただきますので、どうぞお気軽にお寄せください。

■2021年8月

エフエム八ヶ岳 8月の番組審議会の議題は2019年10月から放送の番組「子育て予報 きょうは晴れ！」(第3水曜午前9時15分～10時、再放送あり)です。ボランティア団体「ほくと子育てのもり north-tree」の代表者らが日々の子育てに奮闘する人達と情報を共有し合い、応援をしていくための番組です。8月18日の放送内容について、審議委員6名の主な意見は次の通りです。

- 子育て、人づくりはどんな時代においても最優先されるべきこと。また子どもは将来、いろいろな先生に出会うが、初めて出会うお母さん先生の存在は最も大切だと思う。そういう意味からも、この番組はいい企画だと思う。
- なかなかユニークな番組で、面白く聞いた。特に子育て真っただ中の親にとっては、肩の力が抜けるようなおしゃべりで、番組の特性を十分に発揮していた。
- ボランティア団体の人ばかりでなく、子どもたちも出演していて、その声が気持ちを優しくしてくれた。子どもたちは本音をきちんと言えて、大人の参考にもなったと思う。
- 女性二人の自然体のおしゃべりが安心感を醸し出して聞きやすかった。季節の予定を楽しげに紹介していて、夏休みらしさを感じられた。「自由研究あるある」が自分の子どもの頃と重なり懐かしく聞いた。今の保護者の関わり方の事例として参考になるのではないかな。
- 出掛けるのが苦にならない保護者なら、みそづくり、散歩会、稲刈りなどのイベントにも参加できて、情報発信番組にもなっていて有益だったように思う。
- コロナ禍にあって、あまり外出できない長い休みをどう過ごしているか、気になっている保護者たちの参考になったと思う。
- 後半の「体操コーナー」は、体操の様子や楽しさが伝わってよかったが、ラジオでは分かりづらい部分があったように思う。スタジオでは盛り上がっていたようだが、かえってリスナーとの距離感を作ってしまったように感じた。
- 出演しているボランティア団体の女性たち、子どもたち、皆さんおしゃべり能力がかなり高い方々だと感じた。いろいろな活動企画があるとのことだが、日常的な悩みや相談、子育てを終えたベテランママさんたちの登場など、さまざまな発展性のある番組作りができそうに思う。
- 月一度の番組だと、リスナーは「もっと聞きたい」と思うかもしれないが、作っているママさんたちは活動を伴う内容だけに、月一度でも大変だろうなあと思われ、実のある番組だと思った。
- 「何もしない時間」「だらっとしている時間」も大切、という意見に共感した。このような番組は、若いお父さんお母さんの味方になることは間違いないと思う。ぜひ長く続けてほしい。
- このように聞く人をフォーカスした番組企画もコミュニティ放送の強みかもしれない。今後とも専門家でなく、普段着のママさんたちに登場を願い、共に助け合えるような地域密着の番組を期待している。